



5月なのに、神戸は暑い！ねこが木陰でお昼寝する季節ですね。みなさんにもおすすめします！

Popoki's Hot News!

灘チャレンジ2013!

今年も、阪神・淡路大震災をきっかけにできた神戸大生&灘区民がつくるお祭り、灘チャレンジに参加します！ブースとミニステージの予定です。日時:6月2日(日) 10:00 スタート!

場所:神戸市灘区都賀川公園！お待ちしております！



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのさとしにゃんから届いた平和:

「平和、それは陽だまりの中でのうたたね。

平和、それは大好きな人の胸の中での安らぎ。

平和、それははらぺこの時に嗅ぐ好物の香り。

平和、それはそんな暮らしがあらゆる人々に保障されることへの願い。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



多文化共生・国際理解に関心ある方へ

移住連全国フォーラム 神戸は、

日時 2013.6.15 - 16

場所 甲南大学 詳しくは7頁へ

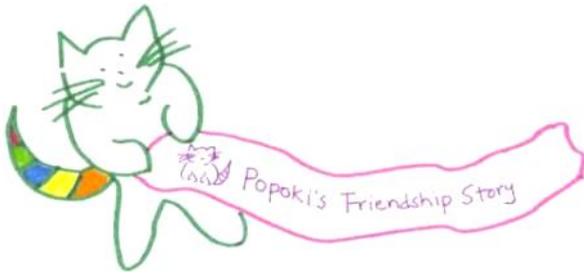
いつもご協力、ありがとうございます！

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」(エピック 2012)はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。





ポーポキ、2013年2月の大槌町にて

(その3)

てつりにゃん

前々回でありぱんにゃんが旅の流れを、前回はたろにゃんが大槌の人々のお話を伝えてくれたので、今回は私達が二月の大槌で何を感じたかについて話しあった内容についてです。

てつりにゃん: ひよんにゃんは初めて大槌に行ったけど、どう感じました？

ひよんにゃん: 行く前にも映像や写真を見たけど実際に見るのはまた違いました。お世話になった大槌の方々、復興に向けて様々な活動を行っているポーポキの友達を応援していきたいと思っています。

てつりにゃん: そうですね、僕も大槌は初めてでしたがより身近に感じましたし、大槌のポーポキの友達とはずっと仲良くしていきたいと思いますね。

てつりにゃん: ありぱんにゃんは何度も大槌を訪れているけど変わった事はありますか？

ありぱんにゃん: 市街地のコンビニや ATM、個人の家も増えて来たのを感じました。あとはやっぱりボランティアの形が変わったように思います。以前はただ多く人がいて、一方的なボランティアも多かったと聞きますが、今はボランティア自体は減って残念ですが、今も継続している団体は信頼関係もある、一緒に生きる事を大切にしているような気がします。

てつりにゃん: ゆうすけにゃんは少し心配している事があるんじゃないよね？

ゆうすけにゃん: ボランティアや復興支援に差があるため不満が起きないかを心配しています。どうやってバランスを取るべきなのをもっとみんなで考えなければいけないと思います。

てつりにゃん: スザンカにゃんは大槌が大好きだとか？

スザンカにゃん: 被災地というよりオオヅチ、被災者というより大槌町民、新しい希望や夢もある大好きな大槌！！

てつりにゃん: スザンカにゃんは普通にファンですね！笑

てつりにゃん: たろにゃんはポーポキの活動についても色々考えていましたよね？

たろにゃん: そうですね、ポーポキのメンバーとして、私達に何が出来るのか、やらなければいけない事は何かを、当たり前ですがもっと考えたいと思いました。

てつりにゃん: まだまだみなさんあると思いますが、それは個人的にお願いします。(笑)。ありがとうございました。

一緒に行っても、色々感じた事や思った事がそれぞれ違い、それを共有する、そこがポーポキのいいところの一つですね。この輪を大槌を中心に広げていけたらと思います。



2013.4.20 にろにゃんが憲法九条を広める会出身の集会で「憲法改正反対！の仲間を増やすには？ ポーポキと憲法9条を考えるワークショップ」というワークショップをしました。ここで参加者から寄せられた感想の一部を掲載します（「広める会通信」2013年5月3日より）

永らく教育の現場にいましたので、学校現場で「軍事化」が少しずつ入り込んでいくように思えました。子どもへの形式的な規律強制や、教師への人事考課による管理が深まりつつあります。そして上司や、教育委員会に対して物を言わぬ人が多くなってきました。疑問に対して発言する勇気が大事です。若い教師が極めて「質素で」仕事熱心で職務に忠実で上意下達のシステムがドンドン進んでいることに今回のこのような会で若い教師が学んで欲しいと思いました。ありがとうございました。（自衛業、60歳、男性）

ロニーさん今日はユニークなお話しありがとうございました。講演会というと一方通行になるのですが、今日は私の五感を働かせて、参加することができました。戦争のできる国づくりへの改憲。これは絶対に許してはならないと思います。軍事化に対して何が必要か。私は行動力で有ると思います。共に頑張りましょう。（退職者、65歳、男性）

非暴力の理念の大切さを感じました。視覚、聴覚に訴える、絵本などのツールの大切さを感じました。平和と反戦の違いをもう一度確認できました。やさしい口調でわかりやすく、考えさせられる所はしっかり考えさせる。大変よかったです。（議員、48歳、男性）

とても考えさせられる講演でした。ありがとうございました。

途中のビデオでの、核実験の歴史を音で感覚できたこと、また、質問に答えるかたちでいろんな人から“自分はこう思う”と意見を聞いたことで、憲法改悪を許さない、という思いを身体的感覚をもって固めることができました。また、ロニーさんの活動の原点が、“こんな運動でいいのか？”という絶望からだ、という話は考えさせられました。高校の先生の話、高校生たちが自分の問題として戦争を考えようとしているのが印象的でした。日ごろの先生の話が効いているのだろうなと思いました。私も日常にうもれず、感覚を日々新たにしていきたいと思いました。（民間、30歳代、女性）

ロニーさんの身近なところから平和についてトークするというところに新鮮な物を感じました。それと「五感で平和を考える」ということは“理くつ”や“たてまえ”での“平和論”ではなくとても人間的でたいせつなもののような気がします。「どうしたら戦争をなくすか？」というロニーさんの最後の質問でたいせつなものは何かと問われ、やはり「行動力」が何より大切ではないでしょうか。戦争（政策）に反対していく行動力がとてもたいせつと考えています。（会社員、女性）

感覚を使って、大切なことを自分のイメージとして考えて行く、というのはおもしろかったです。外国のきょう威をいう人たちともこんな風に、自分のこととして考えあっていたらいいなと思いました。（公務員、48歳、女性）

参加型の講演で、自分の中の考え方、物の見方に気づかされた…というか、新しい発見がありました。憲法9条の大切さ(重要性)を伝えるためのいろんな方法があることがわかりました。一人でも多くの人に子どもたちに伝えたいです。ありがとうございました。（公務員 中学校教諭、42歳、女性）



今回は一風変わった集いだったと思います。外国の方のユニークなお話を聞いて良かったです。戦争がなくなる理由を一言で言うなら『儲かる』からだと思っています。だからこそ、資本主義を超えた、平和を愛する心というのは十分に世界平和につながると思います。（契約社員、24歳、男性）



*9条を読んでみよう！ 日本国憲法 第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

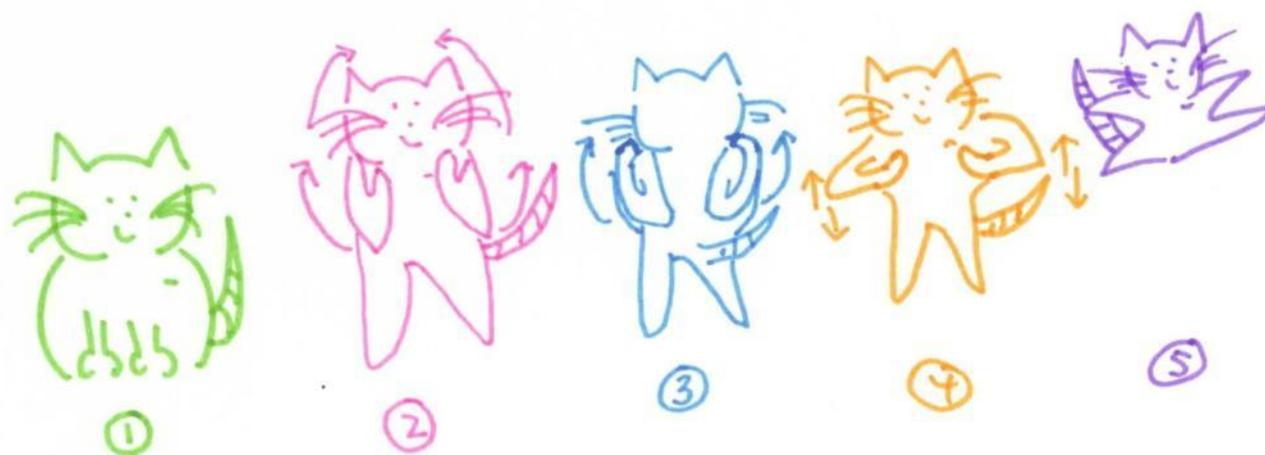
○2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 60

今月のテーマは肩コリです！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、脇をしめて、手を曲げましょう。ゆっくり腕を耳を通して後ろへまわしましょう！
3. 今度は、前へ回して・・・。
4. 最後に、肘を横へ広げて、上下をゆっくり動かしましょう！
5. できた？では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？

次回のポー会 6月25日 神戸YMCA 19:00-20:50

5.25 畿央大学でワークショップ「健康、平和とポーポキ」

6.2 灘チャレンジ参加

6.8 子どもの里でポーポキ！

6.29-30 ふたたび広島女学院大学へ

8.6 広島

8.6 ポーポキ at 国際理解セミナー JICA 関西 神戸

ポーポキの友だちからのご案内

・6.15-16 第9回移動労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 甲南大学
ぜひご参加ください！

ポーポキのおすすめ!

「第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013」 The 9th National Forum in Solidarity with Migrants in KOBE, 2013

<日時>2013年6月15日(土)13:00~16日(日)12:00

<会場>甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区岡本8-9-1)

<http://www.konan-u.ac.jp/access/surrounding.html>

<テーマ>「私たちがつくる多民族・多文化共生社会」

<プログラム>

6/15(土) 基調報告/シンポジウム(1)「私たちがつくる多民族・多文化社会」(東日本大震災と外国人支援、改訂入管法の現状と課題、韓国の移住者政策とNGOの取り組み、質疑応答) /分科会1 移住女性の人権とその保障 2. 技能実習生 3. 外国人労働者の人権 4. 医療保障の現状と取り組み 5. 外国にルーツを持つ子どもの学ぶ権利 6. 改定入管法、その後 7. 困窮する難民申請者・長期收容問題 8. 反貧困ー外国人の生存権 9. 地域に生きる外国人 10. 災害と外国人 11. 日系の子どもたちは今ー国籍と来日問題 12. 医療通訳/コミュニティ通訳 13. 多文化ソーシャルワーク 14. 排外主義の広がりについてどう対処するか/懇親会

6/16(日) シンポジウム(2)「これが言いたい!日本で暮らして」日本で暮らす、多民族、多文化のルーツをもつ10人の声/まとめと提言

<参加費>一般2000円、学生1000円、高校生以下無料(懇親会は別途2000円)

<申し込み>FAX 078-821-5878 または e-mail : 2013kobeforum@ksyc.jp (当日参加も可)

<主催>第9回移住労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 実行委員会 (NGO 神戸外国人救援ネット、移住労働者と連帯する全国ネットワークほか46団体) /共同代表: 中島孝幸(甲南大学教授、六甲奨学基金運営委員長)、ロニー・アレキサンダー(神戸大学教授、ポーポキ・ピース・プロジェクト代表)、丹羽雅雄(弁護士、移住労働者と連帯する全国ネットワーク共同代表)

<問い合わせ先>フォーラム実行委員会 〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内(事務局長 飛田雄一) TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878 e-mail 2013kobeforum@ksyc.jp HP <http://ksyc.jp/2013kobeforum/> Facebook <http://www.facebook.com/2013kobeforum>

<後援>兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、兵庫県国際交流協会、神戸国際協力交流センター、兵庫県弁護士会、神戸新聞、朝日新聞、読売新聞神戸総局、毎日新聞、産経新聞、サンテレビ、甲南大学地域連携センター、大阪大学グローバルコラボレーションセンター、アジア福祉教育財団難民事業本部、神戸日本語教育協議会、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、他

<フォーラム成功のために賛同金を募集中>団体:10000円、個人3000円 送金先:郵便振替<00980-4-282566 口座名:2013神戸フォーラム>



Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。3時間!?!にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





私にとってのポーポキ

古岡 繭

ポーポキとの出会いは、昨年4月。それからは、いろんなイベントにポーポキと一緒に参加しました。昨年の夏は一緒にアフリカのウガンダにも行きました。東北、アメリカ、フィリピン、チェコ、カンボジア…ポーポキはいろんなところ行っているね。

「平和」について改めて考える機会は少なかったのですが、ポーポキは、ポーポキメンバーやイベントで出会った方達と、「平和」について考える機会を与えてくれました。「平和」って、頭で考えるだけでは抽象的で難しいのですが、絵で表現することで、子どもから大人まで、国籍が違う人も、誰もが見て分かる、その人の「平和」の形を表現することが出来るのです。それをポーポキは気づかせてくれました。

ポーポキは、いつも私に新たな気づきを与えてくれます。ウガンダで出会った子どもは、ポーポキの布に雨の絵を描いて、「僕の友達は雨。だって、雨が降ったら水が飲めるし、作物が育つから」と教えてくれました。普段雨はうっとうしいな、という風にネガティブに捉えがちですが、発想を転換してポジティブに捉える事で、そのありがたみ、感謝の気持ちを感じる事が出来るのだと、ポーポキを通じて気づかせてくれました。ありがとう、ポーポキ！これから、ポーポキを通してどんな気づきを得る事ができるのか、楽しみです。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!